

科目名	エコビジネス Eco-Business						
科目担当者	武次 玄三 TAKETSUGU Genzō						
単位数	2	配当年次	3年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	20世紀はある意味で経済発展だけを目標にしてきた〈一輪車〉型の社会だったかもしれない。しかし、21世紀は「エコノミー（経済）」と「エコロジー（地球環境）」を「両輪」とする社会に必然的に変わらざるを得ないだろう。環境破壊型の成長至上主義から「持続可能な成長」へと、「環境共生（保全）型」の企業社会を構築するための様々な問題について学び、検討していきたい。前半に環境問題全般に関する様々な学問的アプローチについて概説する。後半は環境問題への企業の具体的な取り組みについて考える。それらを通して、環境への対応や配慮、つまり ESG 経営が 21 世紀の新しいビジネスの形であることを示したい。						
授業の到達目標	① 環境法規、環境経済学、環境ビジネス・環境経営等に関する基本的知識を理解し、環境保全・保護の視点から現在の社会・経済状況を理解できるようなる。 ② 企業による様々な環境対応への取組の知識と理解を深める。 ③ その上で、今後の政治・経済や企業経営の方向性を自ら批判的に考察できるようになる。						
授業計画・内容	1	「エコノミー（経済）」と「エコロジー（地球環境）」概説					
	2	環境問題と法律(1)法律のグリーン化					
	3	環境問題と法律(2)条約/議定書					
	4	エコビジネス成長の背景と SDGs					
	5	環境経済学(1) 経済的手法					
	6	環境経済学(2) 税のグリーン化					
	7	環境経営 (1) (環境管理システム EMS)					
	8	環境経営 (2) (ESG)					
	9	環境ビジネス (技術系) (1)再資源化 (4R)					
	10	環境ビジネス (技術系) (2)新エネルギー					
	11	環境ビジネス (技術系) (3)エコプロダクツ・環境保全・環境修復					
	12	環境ビジネス (人文/ソフト系) (1)金融・コンサルティング、ESG 投資					
	13	環境ビジネス (人文/ソフト系) (2)広告・ツーリズム					
	14	環境ビジネス (人文/ソフト系) (3)教育・サービサイジング					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	環境に関するマスメディアやインターネット等で取り上げられる事柄や、身近な事象等に興味関心を持ち、それらについて考察する（毎週 2 時間）。						
授業外学修 (事後学修)	授業で配布されるプリントや資料を読み直し復習する（毎週 2 時間）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	毎回提出するペーパー				20%		①、②、③
	定期試験（またはレポート）				80%		①、②、③
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	毎回講義の要約と資料等を配布する。						
参考文献	「ESG 経営」日経エコロジー編著 日経 BP 社 「ESG 読本」足立英一郎他著 日経 BP 社 「生物多様性・自然資本経営」 日経 BP 社						
その他							